

# 小委員会の調査報告書

<p>教科名</p>	<p>音楽・器楽</p>	<p>委員長名 和田 浩</p>
<p>調査研究の経過</p>	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月1日(水)に、稚内総合文化センターで開催し、音楽・器楽小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月2日(木)から7月21日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月21日(火)に、稚内市役所で開催し、報告書の作成を行った。なお、調査研究した教科書見本本の発行者は、教出、教芸の2社である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
<p>調査研究に当たった際の配慮事項</p>	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各学科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p>	
<p>少数意見その他</p>	<p></p>	

様式 2

教科名		音楽				
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列 取 扱 内 容	出版社名	教科書名	番 号	出版社名	教科書名	番 号
		教育出版	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上音楽のおくりもの 中学音楽2・3下音楽のおくりもの	701 801 802	教育芸術社	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3上 中学生の音楽 2・3下
	<p>○歌唱について</p> <p>◆第1学年 齊唱から混声三部合唱までについて、曲想と形式とのかかわりを理解したり、主旋律を担当するパートを確かめ、他の声部を聴きながら歌うために必要な技能を身に付けたりして、歌唱表現を創意工夫できるように内容が整理されている。</p> <p>◆第2・3学年 齊唱から混声四部合唱までについて、曲想と曲全体の構成とのかかわりを理解したり、他の声部や伴奏と合わせて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫できるように内容が整理されている。</p> <p>★共通教材において、比較しやすい、または、つながりを考えた構成がなされている。</p>			<p>○歌唱について</p> <p>◆第1学年 齊唱から混声三部合唱までについて、旋律の特徴や強弱の変化を理解したり、互いの声や伴奏をよく聴いて歌うために必要な技術を身に付けたりして、歌唱表現を創意工夫できるように内容が整理されている。</p> <p>◆第2・3学年 齊唱から混声四部合唱までについて、曲想と歌詞の結びつきを理解したり、全体のまとまりに気を付けて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫できるように内容が整理されている。</p> <p>★合唱曲など生徒が聞き覚えのある曲が多く取り扱われている。</p>		
	<p>○創作について</p> <p>◆第1学年 言葉のリズムやまとまりを理解したり、全体の構成を考えながら音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、創作表現を創意工夫できるように整理されている。</p> <p>◆第2・3学年 音符のつなげ方によるリズムの違いを理解したり、選んだ言葉や音階の特徴を生かして表現するために必要な技能を身に付けたりして、まとまりのある創作表現を創意工夫できるように整理されている。</p> <p>★テーマやことばをリズムと関連付け、まとまりのある作品ができるように工夫されている。</p>			<p>○創作について</p> <p>◆第1学年 音のつながり方の特徴を理解したり、音素材の特徴を生かしながら構成を工夫して音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、まとまりのある創作表現を創意工夫できるように整理されている。</p> <p>◆第2・3学年 言葉の抑揚を生かすことを理解したり、音階を使って和音の動きに合わせて音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、まとまりのある創作表現を創意工夫できるように整理されている。</p> <p>★個の基礎力を習得し、発展的な学習ができるように工夫されている。</p>		
	<p>○鑑賞について</p> <p>◆第1学年 我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、音階や曲と曲の構成等を理解して、複数の音楽の特徴や関連について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるよう整理されている。</p>			<p>○鑑賞について</p> <p>◆第1学年 我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化等を理解して、各地に伝わる音楽の特徴について自分なりに考え、音楽等のよさや美しさを味わって聴くことができるよう整理されている。</p>		

◆第2・3学年

我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、リズムや旋律の反復による曲全体の構成等を理解して、音楽の役割や特徴を踏まえた共通点や相違点について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるよう整理されている。

★個人の音楽に対する批評に加え、他者の考えを聞いてまとめるようにつくられている。  
オペラとバレエで舞台音楽の比較がされている。  
曲の構成や音の重なりを意識して鑑賞するように課題が設定されている。

○〔共通事項〕について

◆第1学年

活動内容に示された共通事項を意識しながら、音楽のまとまりを生かして合わせて歌ったり、声の音色や出し方などの特徴を聴いたりする活動ができるよう整理されている。

◆第2・3学年

活動内容に示された共通事項を意識しながら、曲想を感じ取り、形式を生かして歌ったり、音楽の背景を理解して曲全体の構成を聴いたりする活動ができるよう整理されている。

○主体的で・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について

◆第1学年

「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、言葉の重ね方を工夫しながらイメージに合った音楽をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動ができるよう工夫されている。

◆第2・3学年

「CMソングをつくろう」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、言葉や音階の特徴を生かして旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動ができるよう工夫されている。

○内容の構成・排列について

◆第1学年

郷土の様々な民謡の学習の後に、日本とアジアの声による表現の特徴を聴き取ったり、日本と世界の歌唱における声の出し方を比較したりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。

◆第2・3学年

我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、声や楽器の音色、旋律の特徴等を理解して、世界各地の楽器と似た特徴をもつ日本の楽器の音楽などを聴き比べ共通点や相違点について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるよう整理されている。

★曲の構成を見て分かるようにつくられている。  
西洋と日本の時代の比較がなされている。  
世界の楽器と国の関係を地図を使って見比べることができる。

○〔共通事項〕について

◆第1学年

活動内容に示された共通事項を意識しながら、曲の構成を感じ取り表現を工夫して歌ったり、曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴いたりする活動ができるよう整理されている。

◆第2・3学年

活動内容に示された共通事項を意識しながら、曲想の変化を生かして表情豊かに歌ったり、作曲者の思いを感じ取りながら、音楽の良さや美しさを味わって聴いたりする活動ができるよう整理されている。

○主体的で・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について

◆第1学年

「My Melody」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、音のつながり方を工夫しながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動ができるよう工夫されている。

◆第2・3学年

「Let's Create!」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、リズムの重なりや音の出し方を工夫してリズムアンサンブルをつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動ができるよう工夫されている。

○内容の構成・排列について

◆第1学年

日本の民謡を味わって聴く学習の後に、声や音楽の特徴を生かして民謡を歌ったり、郷土に伝わる民謡を調べたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。

	<p>◆第2・3年生 歌舞伎を鑑賞する学習の後に、歌舞伎と文楽を比較したり、オペラと歌舞伎の音楽の役割や特徴における共通点や相違点について考えたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>	<p>◆第2・3年生 文楽を味わって聴く学習の後に、声や音楽の特徴を生かして義太夫節を語ったり、郷土の祭りや芸能について考えたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>
使用上の配慮等	<p>○「Let's Sing」で表現するための技能を指示したり、作者の思いに触れるようにして、音楽を愛好する心情を育んだりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「比べてみよう」で学習した教材を比較して表現する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やレイアウトに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○学びのユニットとして、学びのねらいや関連・比較する楽曲の記載や、楽曲を形作っている要素をわかりやすく一覧にしている。</p> <p>○曲の要素や雰囲気について直接教科書に書き込み、思考が深められるように、また、曲の特徴をことばで表現し、話し合う構成になっている。</p>	<p>○「My Voice」で歌唱表現のための技能を指示したり、演奏者からのアドバイスを紹介して学習を深めることができるようにしたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「曲のよさをプレゼンしよう」でみんなに薦めたい曲のよさを音楽と関連付けてプレゼンテーションする活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、白を基調とした紙面で、情報の配置に配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○楽曲のポイントや着目するところが色づけされており、生徒が気づきやすい工夫がされている。</p> <p>○1年間で学ぶ学習内容が分かりやすく指示し、取り扱う楽曲が「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」のどこに該当するか明確に記載されている。</p>
その他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○QRコードの活用で個人練習やグループでの音取りができる。（タブレット活用）</p>	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○QRコードで演奏者や作曲者のホームページを閲覧できる。</p>

様式 2

教科名		器楽				
取扱内容、内容の構成・配列	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		教育出版	中学器楽 音楽のおくりもの	751	教育芸術社	中学生の器楽
	<p>◆器楽について 様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、音色と奏法のかかわりや曲想と音楽の構造とのかかわりを理解したり、基本的な奏法や他のパートと合わせて演奏する技術を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>◆共通事項について 活動内容に示された音楽を形作っている要素を意識しながら、音色と奏法とのかかわりを理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>◆主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について 「不思議な旋律」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽器の音色や響きを生かし、全体の構成を工夫して表現するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>◆内容の構成・配列について 楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、新しい音の運指やいろいろな奏法を身に付けて、表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			<p>◆器楽について 様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、曲の構成や音色や強弱、音の重なりなどを理解したり、基本的な奏法や他のパートの役割を考え、全体の響きを確かめながら演奏するために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>◆共通事項について 活動内容に示された音楽を形作っている要素を意識しながら、曲の構成を理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>◆主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について 「深めよう！音楽」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、パートの役割や曲の構成を生かして表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>◆内容の構成・配列について 楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、練習や演奏のポイント等を参考に、表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>		

<p>使用上の配慮等</p>	<p>◆多様な音楽に触れることができるように、世界の諸民族の楽器を掲載したり、箏と篠笛の家元からのメッセージにより、音楽を愛好する心情を育んだりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>◆キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「何が同じで、何が違う？」において、吹く楽器と弾く楽器の共通性と固有性を考えて特徴をまとめる活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>◆全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やレイアウトに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>	<p>◆多様な音楽に触れることができるように、様々な打楽器の奏法を掲載したり、ピアノ奏者からのメッセージにより、自ら考える力を引き出したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>◆キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、和楽器奏者からのメッセージにより、楽器の特徴を理解する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>◆全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、白を基調とした紙面で、情報の配置に配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>◆学習者用デジタル教科書の発行が予定されている</p> <p>◆巻頭ページの口絵には、箏と篠笛の家元から中学生へのメッセージを掲載し、音楽文化を継承、発展、創造していこうとする態度の育成のための工夫がなされている。</p>	<p>◆学習者用デジタル教科書の発行が予定されている</p> <p>◆各界の著名人からのメッセージや、同世代の音楽活動の様子を掲載し、生徒が意識的に生活や社会の中の音や音楽との関わりに目を向け、考える工夫をしている。</p>